

情報科教育法a

第10回

2019/7/13&7/14

1

スケジュール

授業回数	大宮	枚方	内 容
1	5/12	5/11	ガイダンス、教科「情報」の構成と教員免許について
2	5/19	5/18	情報教育の成立過程
3	5/26	5/25	学習指導要領と情報教育
4	6/2	6/1	教材研究
5	6/9	6/8	教材研究
6	6/16	6/15	教材研究
7	6/23	6/22	授業設計の視点と流れ
8	6/30	6/29	教育目標と評価
9	7/7	7/6	テストと評価
10	7/14	7/13	授業指導案の作成について
11	7/21	7/20	模擬授業（指導案）
12	7/28	7/27	模擬授業
13	8/4	8/3	模擬授業
14	8/18	8/17	まとめ

2019/7/13&7/14

2

本日の内容

- 前回のテストについて
- 模擬授業のための指導案づくり
- 【演習】指導案を作る

2019/7/13&7/14

3

指導案とは

- 各授業単位の具体的な指導計画のこと
 - 年間計画と結びつきがある（第7回）
 - 1時間のみの指導案を考えるのではなく、**流れ**を考える
- 指導する各学級の生徒の実態及び社会や教科の系統上の要求を踏まえる
 - 同じ授業単位でもクラスによって変えるべき

2019/7/13&7/14

4

指導案とは

- 特に定められたフォーマットはない
 - 誰が読んでも理解できる必要性
- 他の学習指導案を参考にすることも大事
 - 良い学習指導案を参考にすることは大事
 - 他人にわかりやすい学習指導案を作成すること
 - 年間計画でどの部分をやるのか明確にしていること

2019/7/13&7/14

5

指導案とは

- 細かい内容まで作成する(教師の支援活動, 生徒の学習活動, 評価活動, 教材など)
- 指導案は絶対ではない!
 - トラブルはつきもの
 - 指導案通りに授業をしなければならないということはない

2019/7/13&7/14

6

指導案の内容

- 書くべきこと(絶対ではない)
 - 目標(単元の目標と本時の目標)
 - 生徒観
 - 使用する教材(準備物)第4~6回講義
 - 展開
 - 板書計画
 - 単元別の評価(第8回講義)

2019/7/13&7/14

7

模擬授業と授業の指導案

- 指導案は通常50分、短縮授業40分を目安に作成する
- 模擬授業などでは5分、10分、15分を目安に作成する
 - 導入→展開→まとめ
- 決められた時間で1つのストーリーとなるように
- 「主体的な学習」

2019/7/13&7/14

8

演習1

- 模擬授業に向けた指導案を作る
 - 50分の授業案を作成してみよ
 - 特に、フォーマットの指示はなし
 - PDFかWORDで提出
- 提出: Google Form
- 締め切り: 土曜日

- 生徒観(雰囲気)
 - ① 授業は聞いているが発言などのないクラス
 - ② 体育の授業の後で、元気が有り余っているクラス
 - ③ 前のほうで寝ている生徒が多いクラス
 - ④ 10分程度するとざわざわしてしまうクラス

2019/7/13&7/14

9

演習2

- 授業を始めるためには導入が必要になることもある
- そこで、1分～2分程度で授業の導入となる話を考え来週の頭に発表する
- ただし、どんな分野の授業をするのかなども考慮した話題を提供すること

2019/7/13&7/14

10

課題

1. 模擬授業・授業を行うにあたって、以下のような場面があった場合に、あなたはどのように授業を進行していくのか考えよ
 - ① 授業中に特に騒いでいるわけではなく、スマートフォンを触っている生徒がいるクラス
 - ② ざわざわしており、授業の進行が難しい状況
- 提出: Google Form
 - 締め切り: 土曜日

2019/7/13&7/14

11